

申 八郎たいむず

土井首中学校
学校だより
R5.7.20(木)
文責：山川雅弘

☆学校教育目標
主体的に行動し
気づく目・感じる心を持ちながら
夢の実現に向かう生徒の育成

◇令和7年度からの公立高等学校入試が変わります！

令和5年7月7日付け、長崎新聞でも大きく取り上げられていましたが、令和7年度入試（現中学校2年生）から、公立高等学校入試が大きく変わります。

変化するポイントとしては・・・

- ・中学校内外で主体的に取り組んだ活動（文化・スポーツ・生徒会活動・プログラミングコンテスト入賞者・IT系国家資格の取得 等）を自己推薦により、特別選抜として実施されること。
- ・多くの生徒が受検する可能性がある「一般選抜」の日程が、これまでよりも約半月早い、2月中旬に行われること。

詳しくは、長崎県教育庁高校教育課ホームページでご覧いただけます。

アドレス：pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/shochuko/koko-nyushi/619303.html

◇校則の見直しに向けて協議を進めています！

7月1日の土曜授業の際に、出席していただいた保護者の方を中心に、「土井首中ルール」について協議していただき、たくさんのご意見をいただきました。今後はPTAとしての意見集約を役員さんを中心に進めていただくことになっています。また、生徒たちは7月7日の生徒総会で協議し、生徒会としての意見が出されました。教職員についてもこの夏季休業中に校内研修会を開催し、意見集約を進めることとしています。

今後は、生徒・保護者・教職員の三者の意見を踏まえた新しい「土井首中ルール」を2学期末を目途に取りまとめ、皆さんにお知らせすることとしています。ご協力ありがとうございました。

～校長のつぶやき～ 「あたりまえ」と「ありがとう」

先日ある記事を読んだ際に、「「あたりまえ」の反対語は「ありがとう」というのを目にしました。

「あたりまえ→当たり前」、「ありがとう→有難う」。納得すると同時に、「ありがとう」って、いい言葉だなと改めて感じました。

普段何気なく生活している中で、周りの人がするいろいろな事が「あたりまえ」になってしまい、ついつい感謝の気持ちを忘れてしまうこと、ありますよね？

そんなとき、「ありがとう」という言葉で感謝の気持ちを表現できたら、どれほど心が豊かになり、みんながホッコリした気持ちになることか。

いつも心の中に「ありがとう」という言葉を忍ばせて人と接するようになると、うまくいくかもしれませんね。

